

# 家田病院様

目的・課題 入院患者へのホスピタリティの向上

## ネットワーク設計 (Wi-Fi)

## 入院・外来患者に対するホスピタリティを 目的に院内全域のWi-Fi環境を整備。 ストレスなくどこでもつながる Wi-Fi提供により患者の満足度が向上

愛知県豊田市にある医療法人 愛知会 家田病院(以下、家田病院)は、肛門と胃腸の専門病院として地域医療を支えています。2023年6月、同院は老朽化した施設の建て替えに伴いネットワーク環境を整備。入院・外来患者が快適に過ごせる環境づくりの一環として、病室をはじめとする院内各所で利用できる患者用Wi-Fiを導入しました。院内のどこでも自由につながるWi-Fi環境の構築により病院としてのホスピタリティが向上し、患者の満足度もアップ。入院期間中や診察待ち時間を充実して過ごせるようになりました。



導入先プロフィール (2024年3月現在)

施設名 | 医療法人 愛知会 家田病院  
所在地 | 〒470-1219 愛知県豊田市畷部西町城ヶ堀11番地1  
URL | <https://ieda-hospital.jp>

### お客様の 課題

## 院内のどこでも快適につながるWi-Fi環境を構築したい

- 旧病棟のWi-Fiエリアは一部のみ ▶ 接続可能エリアの拡張が必要
- 通信量増大による遅延リスク ▶ 安定速度・通信が可能なWi-Fi環境
- 病院業務でもWi-Fiを使用 ▶ 業務に支障が出ないネットワーク設計

### 課題への 対策

10Gbps回線契約によりストレスなくつながる通信速度を実現  
1回線契約の中でお互いに通信を圧迫させないよう  
業務用と患者用Wi-Fiを分離

## 安定・高速通信が可能なWi-Fi環境で患者満足度アップ

- ☑ 院内全域でWi-Fi利用可能 ▶ 入院・外来患者の満足度向上
- ☑ 用途別にWi-Fiを切り分け ▶ 遅延等なく安定通信が可能
- ☑ 保守・管理をサポート ▶ 病院経営に専念できる環境に

### POINT



業務に支障なく患者用Wi-Fiが快適につながる  
通信環境を構築できる

## お客様インタビュー

医療法人 愛知会  
家田病院



家田 章宏氏

# インターネット検索やSNS・動画視聴など 通信量を気にせずスマホ利用が可能に。 利便性の高い施設になり、 入院患者の余暇充実にも効果を発揮

### 概要

- ・ Wi-Fiエリアを院内全域に拡張
- ・ 通信量を気にせずWi-Fi利用可能に

### 機器選定から保守・管理まで一貫してサポート

肛門・胃腸の専門病院として長く地域医療を支えてきた家田病院。開院から40年以上を迎え、同院は老朽化した施設の建て替えに伴い、入院・外来患者や来客者などが院内で自由に使えるWi-Fi接続サービスを提供するためにネットワーク環境を一新。ひまわりネットワークが機器の選定から保守・管理まで一貫してサポートしました。

### 多くの入院患者の余暇時間が充実

病院内のどこでもWi-Fi接続が可能になったことで、入院・外来患者はストレスなくインターネット検索やSNS・動画視聴、家族や友人とのテレビ電話などを楽しめるようになりました。一定期間滞在する入院患者にとっては通信量を気にすることなくWi-Fiを利用できることで余暇充実にもつながっています。

### 目標・課題

- ・ 病棟建て替えに伴いWi-Fi環境を整備
- ・ 入院・外来患者の利便性・満足度向上

### 患者用Wi-Fi接続サービスを拡充したい

家田病院は旧病棟でもWi-Fi接続サービスを提供していました。しかし、接続可能エリアは待合室など一部のエリアに限定されていたため、入院患者がWi-Fiを利用するには病室から移動する必要がありました。近年、院内Wi-Fiは当たり前とされる中、同院においてもWi-Fiニーズは年々高まっており、ホスピタリティおよび患者の満足度向上を図る手段としてネットワーク整備が重要だと認識していました。

### ストレスなくWi-Fi利用できる環境が必要

医療法人 愛知会 家田病院 家田 章宏氏（以下、家田氏）は「肛門科を専門とする当院では、手術後1～2週間ほど入院する患者様が多数います。とはいえ、重病や重症ではないので入院中は普段と変わらない生活を送ることができます。患者様の余暇充実という点においてWi-Fiニーズは非常に高く、ストレスなくスマホやタブレットが使える環境を提供する必要がありました」と話します。

### 解決策

- ・ 10Gbps回線導入で通信速度アップ
- ・ 患者用・業務用Wi-Fiを切り分け

### コストを抑えつつ安定通信が可能なネットワーク設計

・病院内全域でWi-Fiを使えるようにAPを設置  
5階建の病棟に計84床を有する同院において、各病床や待合室、受付など院内全域で快適につながるWi-Fi環境を構築するため各フロアの廊下にWi-Fiアクセスポイントを設置。10Gbps回線を導入して通信速度アップを図るとともに、1つの回線契約の中で業務用Wi-Fiと患者用Wi-Fiを分離させるネットワーク設計によりランニングコストを低減しました。

### 業務に支障が出ないようWi-Fi用途別に周波数を分離

また、5GHz帯W52をナースコールシステムに、W53・56をそれぞれ入院・外来患者用および業務用Wi-Fiに割り当てるなど無線帯域（周波数）を完全に分離し、業務に支障が出ないネットワーク設計を実施。さらに、Wi-Fi暗号化によりセキュリティを強化しつつ、入院患者の多くは複数日にわたって継続的にWi-Fi接続の可能性があることからSSID方式を採用し、公衆Wi-Fi画面から毎回ログインする手間を省いて利用できる仕様としています。

### 効果

- ・ 院内全域でつながるWi-Fi環境に
- ・ Wi-Fi整備で病院サービスの品質向上

### 院内のどこでも自由にWi-Fi接続可能に

院内全域でつながるWi-Fi環境の構築により、入院・外来患者はどこにいてもストレスなくWi-Fi接続が可能に。インターネット検索やSNS・動画視聴、家族や友人とのテレビ電話など通信量を気にすることなくスマホやタブレットを利用できるようになりました。院内サービスの品質が向上したことで患者の利便性・満足度もアップ。導入以降、通信遅延などWi-Fiに関する問い合わせや不満の声も挙がっていません。

### 安心の保守サポートで病院経営に専念

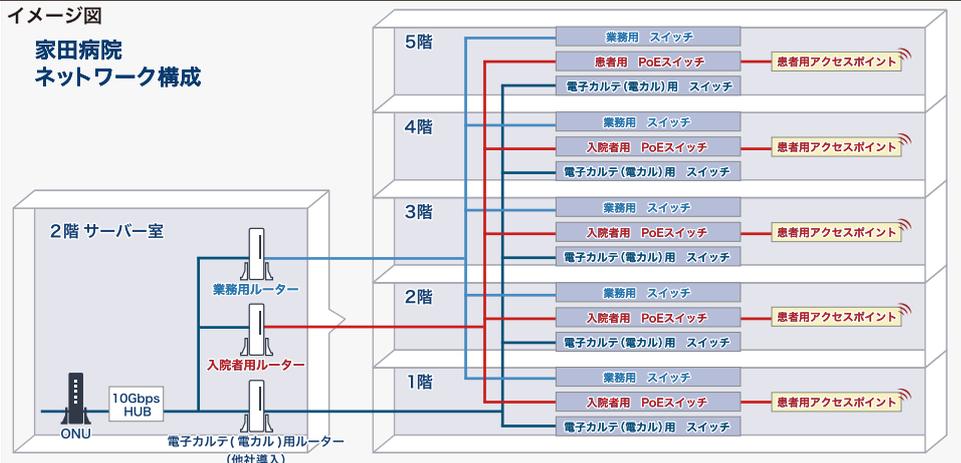
家田氏は「病棟建て替えに伴うネットワーク整備のため事前にスケジュールが決まっていたが、しっかりと納期に間に合うように対応してくれました。また、施工だけでなく機器の保守・管理までお任せできるのもありがたいですし、地元の会社なので何か現地対応が必要な時すぐに駆けつけてくれる安心感があります。導入～保守まで一貫してサポートしてもらえるので病院経営に専念できています」と話します。



各フロアの廊下などにWi-Fiアクセスポイントを設置

### イメージ図

#### 家田病院 ネットワーク構成



病棟建て替えに伴いネットワーク環境を見直し、各フロアにWi-Fiアクセスポイントを設置し、院内全域でつながるWi-Fi環境を構築。10Gbps回線契約により通信速度アップを図るとともに1回線契約の中で用途別にWi-Fiを切り分けることでコストを抑えつつ、安定通信が可能な環境を実現。